



犯罪被害の現実

慶應義塾大学 法学部

太田 達也

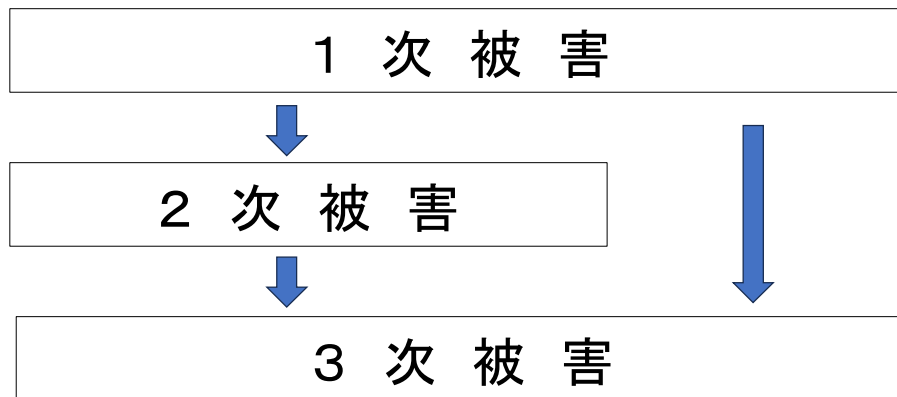


警察庁
National Police Agency

本講義の内容

- 犯罪被害の3つのレベル
- 1次被害、2次被害、3次被害
- 代理受傷

犯罪被害の3つのレベル

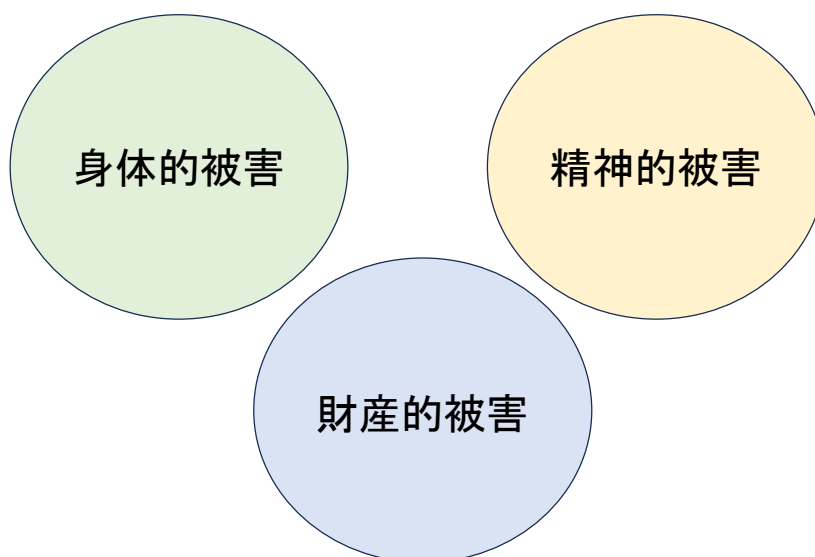


被害者学とは、1940年代に提唱された学問分野で、犯罪被害や被害者の実情を解明し、犯罪被害者に対する支援の在り方を検討するものである。

3

1次被害

犯罪被害そのものを1次被害という。



4

1 次被害

身体的被害 死亡, 負傷・疾患, 障害, 後遺症

性犯罪被害 → 妊娠, 性病罹患

財産的被害 窃盗や詐欺などの財産犯の被害

殺人や傷害などの身体犯被害の結果, 収入の喪失,

治療費, カウンセリング費用, 裁判費用などの支出

※性犯罪の「財産的被害」

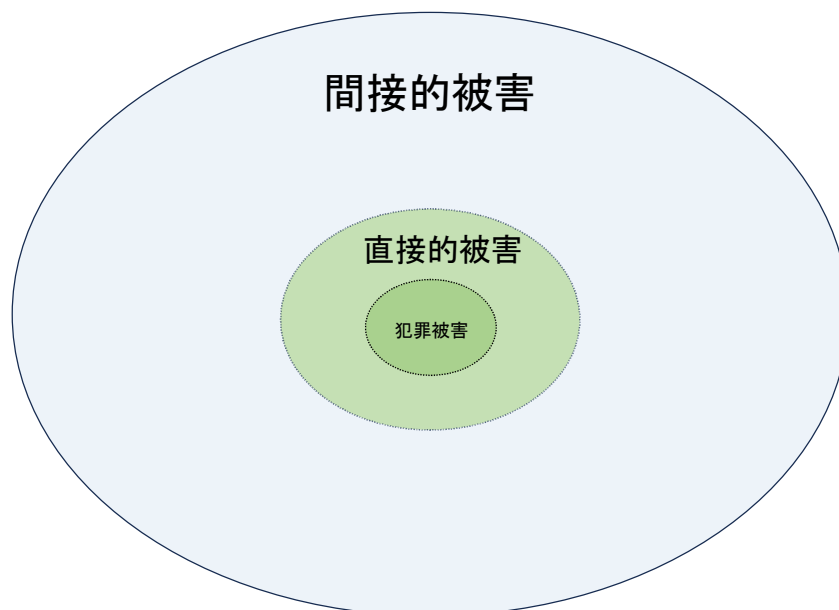
精神的被害 PTSD 心的外傷後ストレス障害

侵入, 回避, 認知と気分の陰性の変化, 過覚醒

生活面での被害 仕事, 家事, 育児ができなくなる。

5

1 次被害の広がり



6

1 次被害の広がり

直接的被害と間接的被害

直接的被害の広がり 身体犯 手術や手術痕, 手術の反復
財産犯 窃盗の被害の「本当の大きさ」

間接的被害の広がり 性犯罪 失職, 退学
重大犯罪 進学や就学の継続断念
家庭の崩壊 夫婦の離婚
児童虐待 子どもの非行

7

2 次被害

犯罪被害を受けた被害者に対し, 被害者に関わる
様々な関係者や周囲の者が適切な対応を取らな
いか, 不適切な対応を取ることで被害者が受
ける精神的・物理的被害をいう。

8

刑事手続における２次被害

刑事手続(捜査・訴追・公判)段階における２次被害

刑事司法関係者の不適切な対応によるもの

かつては捜査や事情聴取での２次被害も見られた。

刑事司法の制度や運用上やむを得ないもの

公判での証人尋問

起訴の内容(訴因)

判決, 上訴

刑の執行段階での仮釈放

9

マスコミによる２次被害

取材による２次被害

取材スクラム

報道による２次被害

事実の報道による被害

虚偽報道の被害

インターネット社会では国民が総マスコミ状態

プライバシーや虚偽情報の拡散

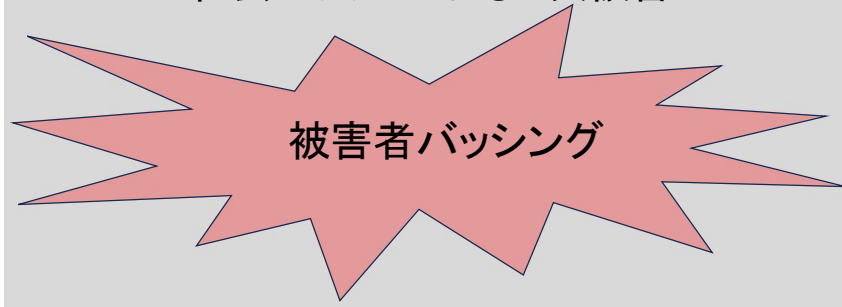
10

社会の人々による2次被害

近隣の人々による
2次被害

家族・友人による
2次被害

社会の人々による2次被害



11

犯罪者による2次被害

公判や被害者の心情等伝達の際の
非難・誹謗・無視

損害賠償の弁済を求める際の2次被害

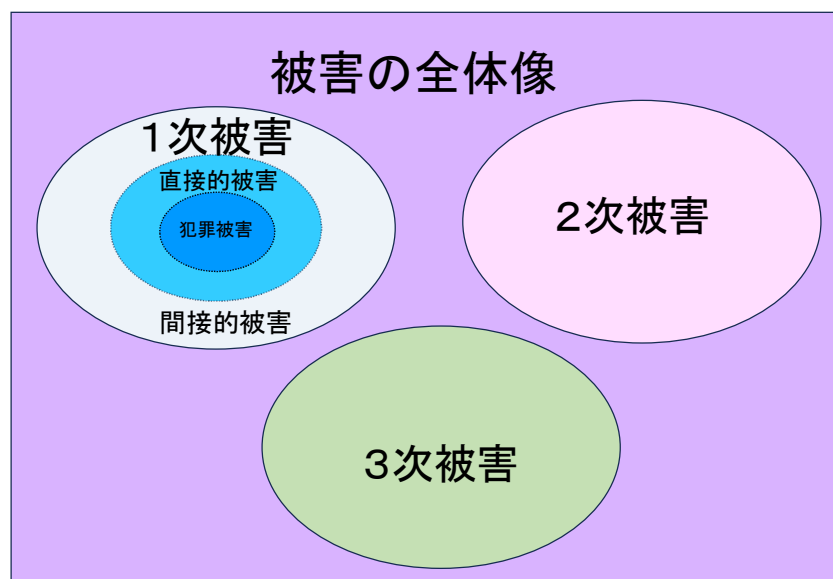
12

3 次被害

1次被害や2次被害に対し、適切な対応を取らないか、不適切な対応を是正しないまま、長期間被害者が放置されることにより被害者の人格形成や精神状態に重大な影響が及ぶことをいう。

13

被害の「全体像」



14

代理受傷

犯罪被害を受けた本人ではなく、被害者支援に従事している者が、余りに凄惨な被害の状況を目の当たりにしたりすることで被害者と同様の精神的被害を受けること。

15

ご視聴ありがとうございました。



警察庁
National Police Agency